



親子で楽しい給食を



子どもたちにとって給食は、幼稚園の一日の生活の中で、大きな楽しみの一つです。また、食文化が進み、摂取の仕方健康に大きな影響を及ぼすために、今日では、食育は、知育、徳育、体育と同様に大切な教育の一つとなっています。

1 学期も半ばを迎え、年少さんも、幼稚園生活に慣れ、落ち着きを見せ始めたこの時期に、親子の給食参観を実施しました。これは、保護者の皆様が、お子様と一緒に給食を楽しんでいただくのももちろんですが、本園の給食のメニューや子どもの様子をご理解いただく意味もあります。

9 日(金)の当日、やはり、子どもたちはお母さんと一緒ということとても嬉しそうでした。お母さん方も、給食がとても美味しかったとの評価でした。給食後、食に関するクラス対抗のゲームが開かれ、夢中になって遊戯室を駆け回る姿がとても印象的でした。

びわジャム作り

今年の幼稚園のびわは、粒が比較的大きくて、甘く、大豊作でした。ひょっとしたら、店で売っているびわよりも甘いかもしれません。そのびわを使って、年中さんのびわジャム作りが、13 日(火)にありました。たくさん実ったから、その年の担任の思い付きでジャム作りやジュース作りをしているわけではなく、本園の年間指導計画に基づいて、意図的、計画的に実施しているものです。

3 クラスで、びわの皮を一つずつ丁寧に剥き、剥いた後は小さく切り、お鍋に入れてつぶします。

りす組では、美味しいびわジャムができるように、全員で「美味しいジャムにな〜れ！」と魔法の言葉をかけていました。その後、みんなで台所まで持って行き冷蔵庫で冷やすことにしました。明けて 14 日(水)、昨日冷やしておいたジャムをクラッカーにつけ、皆で、美味しくいただきました。子どもたちは、「とっても甘〜くて美味し〜い」と

喜びの声を上げていました。幼稚園には、びわ、ユスラウメ、ヤマモモ、スモモなどの果樹があります。各担任は、びわの後に、どんな果物を提供しようかと迷っています。お楽しみに。



花壇も夏に模様替え

春の花が終わり、花壇やプランターが空き部屋となり、彩もなく何となく淋しい感じがしていました。10 日(土)、らいおん組のお父さんのお力で、再び、ロータリーや玄関前が、花でいっぱいになりました。この日は、在園児のお父さん 18 人に加え、卒園児のお父さんも 7 名が加勢に来てくださいました。らいおん組のお父さんに感謝です。

在園児のお父さんは、先ず、組み立て式のプールを出した後、ロータリーやテニスコート横の雑草園の土起こし、そして、お子さんと一緒に花植えを楽しんでいただきました。やはり、若いので作業が早いのに感心しました。

卒園児のお父さんは、目立たないところを受け持つということで、半日間、坂道の草刈りです。幼稚園の坂道は、ご存じの通り、かなりの距離がありますので、人海戦術で、一気に草を刈り取っていただき、あっという間に、きれいになりました。梅雨を前に、さっぱりし、子どもたちも安心して坂道を登降園できます。

これから、在園児のお父さんも卒園児のお父さんも「らいおん組」として活動をしては如何かという意見も出ています。子どもたちのために、活動の輪が広がり、お父さん方が、相互に懇親を深めていただければと、願っています。活動の夜は、O. B の佐野様の音頭で、恒例の懇親会です。日頃話す機会が少ないお父さんがお互いに、親睦を深めました。

